

黎明会七十年の歩み

編纂担当参事 都丸繁

社会福祉法人黎明会は、今年で創立七十周年を迎えます。これを記念して「黎明会七十年の歩み」を刊行する運びとなりましたので、ここにその概要を紹介します。

内容は全部で七編の構成からなり、本編の前段に黎明会のシンボルマークと法人の理念を掲げて、成り立ちを解説しました。



シンボルマーク(ロゴ)の由来

会事業を利用さ
れる1人ひとり

マーカは、黎明

福の総合機能

を活かして質の高いサービスを提
供する意思を表明しています。

中央に「黎」の一字を配してい

ますが、これは「黎明」の一字を挿入したもので「黒い薄暗い空」にやがて太陽が昇つて日が輝く、さきがけの明るさを意味しています。どんな悲惨な中にもあっても必ず夜明けが始まり陽がさすようになることを象徴しています。

第一編 黎明会創設の経緯

戦後の食糧難、住宅難に悩む人

のために救済活動に奔走する先人の姿を紹介し、黎明会創設の経緯に触っています。更に黎明会活動の由来についても述べており十二

回に及ぶ沖縄巡回無料診療活動の実績や、黎明会の由来等に言及しました。

実績や、黎明会の由来等に言及しました。

第二編 五十年史以降の二十年間の保健、医療、福祉の潮流

この二十年間に起きた制度の変遷や法改正の動き、大きな転換点となつた制度の潮流について記述しています。

国のゴールドプラン（社会福祉保健十カ年戦略）及びゴールドプラン二十一の策定と実施、介護保険制度の発足と内容、障害者自立支援法の制定から障害者総合支援法へと発展した潮流を説明しました。

サービスの体系と介護一時金のあり方について検討。

基本構想懇談会では、頻繁な制度変化対応するため当会の将来構想と各事業のあり方を検討しました。

建替え後のやすらぎの園は、ユニット型部分が地域密着型に移行あかつときは、公的機関と連携し地域生活支援を更に強化しています。

第四編 黎明会の抱える課題と解決のための取組み

理事長の記述により、今迄の職員給与等の問題点と、その是正の

ための取組みについて述べられて
いるほか、建物・施設整備のため
の積立金の捻出の考え方や熱海ゆ

りあの郷、南台病院、けやきの
郷等の経営安定化のための方針、
法人本部総務局への組織替えや在

宅サービス事業の本部への統合、
一本化等組織強化のための対策が
述べられている。

また、今後の改革と展望として
建物の再建整備や事業の総合的、
有機的展開の必要性が述べられています。

待されます。

各施設の取組みでは、澄水園が、
地域移行支援のグループホームを

開設し地域定着を目指し黎明寮、
あかつときは、公的機関と連携し地
域生活支援を更に強化しています。

ニット型部分が地域密着型に移行
し、これまで以上に家族的サービ
スの充実が求められます。

けやきの郷は、地域包括ケアシ
ステムの構築と在宅復帰率の向上
を目指しています。のぞみ作業所
は、更なる受注開拓に励み、南台
病院は、基幹病院と連携を深め、
看取り療養を行い、地域の方々の
健康維持を促進しています。

熱海ゆりあの郷は、入居一時
金の見直しを図り、安定運営の基
盤を確立していきます。
また人材育成の機会を増やす幅
広い研修を実施しています。

第七編 五十年史の要約

五十年史を八十頁に要約し、こ
こ二十年の活動と併せ七十年を通
じて歴史を辿ることができるよう

にしました。一読して歴史を辿ること
ができるようになります。

学識経験者等に検討をお願いし、
やすらぎの郷の全面改築を実現し

たこと。ゆとりあの郷では、介護

保険制度の活用を前提としたケア



去る、六月二十六日、小平消防署の自衛消防訓練審査会に参加させていただきました。今年度は私自身の異動、またメンバーも最後まで決まらず、制服、用具等が揃わない中でのスタートでした。そして、一名を除き他のメンバーは全て初心者。その一名も十年前にやりましたという経験者。すべてゼロからのスタートでした。

今年度も小平消防署、ブリヂストンの皆様に大変お世話になりました。技術や形を習うということはもちろんですが、自分たちの惰性や、中だるみを解消していく中でも絶対必要な方々でした。

大雨で全身びしょびしょになりましたが、頭から水をかぶりながらの日もありました。さながら部活動のように変わっていく姿は感動でした。

そして本番当日、丸井研修センターの審査会会場の雰囲気に呑まれてしまつた一人ひとりの顔は忘れません。たった四、五分の演技ではあります、二ヶ月もの練習の成果を出す時がきました。

昨年より、審査結果が点数とし

て、名を除き他のメンバーは全て初心者。その一名も十年前にやりましたという経験者。すべてゼロからのスタートでした。

今年度も小平消防署、ブリヂストンの皆様に大変お世話になりました。技術や形を習うということはもちろんですが、自分たちの惰性や、中だるみを解消していく中でも絶対必要な方々でした。

大雨で全身びしょびしょになりましたが、頭から水をかぶりながらの日もありました。さながら部活動のように変わっていく姿は感動でした。

自身の異動、またメンバーも最後まで決まらず、制服、用具等が揃わない中でのスタートでした。そして、一名を除き他のメンバーは全て初心者。その一名も十年前にやりましたという経験者。すべてゼロからのスタートでした。

今年度も小平消防署、ブリヂストンの皆様に大変お世話になりました。技術や形を習うということはもちろんですが、自分たちの惰性や、中だるみを解消していく中でも絶対必要な方々でした。

自身の異動、またメンバーも最後まで決まらず、制服、用具等が揃わない中でのスタートでした。そして、一名を除き他のメンバーは全て初心者。その一名も十年前にやりましたという経験者。すべてゼロからのスタートでした。



男子隊：優良賞 女子隊：準優勝

今後は、私も含め隊員一人ひとりが、ご利用者のまた地域の安心安全を守つていけるよう今回の訓練、審査会の経験を生かし日々職務にあたつてまいります。最後に様々な角度からご指導、応援して下さった方々、また、惜しまない協力をして下さった職員の皆様、この場をお借りしてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

結果としては、男子隊は惜しくも三連覇ならずの優良賞。女子隊は二年連続の準優勝という素晴らしい結果をもって終わることができました。

今後は、私も含め隊員一人ひとりが、ご利用者のまた地域の安心安全を守つていけるよう今回の訓練、審査会の経験を生かし日々職務にあたつてまいります。最後に様々な角度からご指導、応援して下さった方々、また、惜しまない協力をして下さった職員の皆様、この場をお借りしてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

自衛消防訓練審査会への参加

総括指導者 香遠亨

(指定就労継続支援B型施設のぞみ作業所 次長)

“春季”介護職員初任者研修

「春コース」修了者二十五名

春コースの受講生の学びの姿勢はすごかった。誰一人として、休むことも遅刻することもなく、副教材の問題集も余すところなく埋めつくし、実技演習、現場実習も

とても前向きで、どんどん吸収していく。修了間近の宿題に、あなたならどんな介護を期待するかの

問い合わせがあり、その回答は正に学びの集大成であって、介護者の理想の姿、そうなりたい自分の姿でした。受講生が書いた「こんな介護を受けたい」の文章に現れた「介護を受けるかたの過去の物語」ところから、希望に、尊厳と技術とハートをもって寄り添う」というその感性に触れた時、ジンワリと鼻の奥が熱くなりました。

私のことは私に決めさせてほほしい。そして究極、私は私に介護されたい。こんな答えを出してくる受講生全員が一体化したかと思えるほど、すべてをキャッチしてくれる介護さんが卒業していく

ました。ご活躍を期待します。

(今野)

春コースの受講生の学びの姿勢はすごかった。誰一人として、休むことも遅刻することもなく、副教材の問題集も余すところなく埋めつくし、実技演習、現場実習もとても前向きで、どんどん吸収していく。修了間近の宿題に、あなたならどんな介護を期待するかの

問い合わせがあり、その回答は正に学びの集大成であって、介護者の理想の姿、そうなりたい自分の姿でした。受講生が書いた「こんな介護を受けたい」の文章に現れた「介護を受けるかたの過去の物語」ところから、希望に、尊厳と技術とハートをもって寄り添う」というその感性に触れた時、ジンワリと鼻の奥が熱くなりました。

市民公開講座のご案内

一回目

日時 平成27年10月3日(土) 14時~
会場 黎明ホール(小平市小川町1-485)

テーマ 「認知症に学ぶ」
～認知症家族の立場から～
講師 山田賢三さん

町田市認知症友の会

講師プロフィール
ブログ「伊勢太郎の介護つれづれ日記」

～認知症の妻と歩む日々～より

『妻が2003年7月(59歳)に若年性アルツハイマー型認知症と診断された』そして、10年以上に及ぶ在宅介護を行う。

二回目

日時 平成27年12月19日(土) 14時~
会場 黎明ホール

講師：認知症の人と社会のために認知症の人自身が活動する日本認知症ワーキンググループより
吉田美穂さん(メンバー)
水谷佳子さん(パートナー)

いずれも入場無料 直接会場にお越しください

問い合わせ
社会福祉法人 黎明会 <http://www.reimeikai.or.jp>
〒187-0032 東京都小平市小川町1-485
TEL 042-346-6611
担当 今野 konnno@reimeikai.or.jp

関東地区救護施設研究協議会に参加して

救護施設 黎明寮

介護職員 清水 真由美

平成27年7月2日から3日にかけての2日間、ホテルポートプラザちばにおいて行われた第49回関東地区救護施設研究協議会に参加して参りました。

今回の協議会は「行動指針」へ向けた具体的な進捗・社会福祉法人制度の人及び救護施設の存在意義・力を発揮するためには～というテーマで一日目は、中央情勢報告と分科会が行われました。二日目は、特別講演でお笑い芸人松本ハウスのハウス加賀谷氏より「統合失調症がやってきた」というテーマで体験談を交えた公演が行われました。

中央情勢報告では、全国救護施設協議会会长大西豊美氏より講話がありましたが、平成27年度全国救護施設協議会事業の重点項目は、以下のとおりです。

- ① 生活困窮者自立支援法の施行をふまえた対応と「救護施設

が取り組む生活困窮者支援の行動指針の推進

社会福祉法人制度の見直しへの対応

③ 救護施設の機能強化に向けての指針を踏まえた機能強化

④ 利用者の人権を尊重した支援と、利用者主体の個別支援計画

【分科会の報告】

今回は、第一分科会、第二分科会ABCの、合せて計4つの分科会があり、各テーマに沿って事例発表とグループ懇談会が行われました。

第一分科会では、「行動指針に掲げる事業への取り組みについて」～救護施設の機能を活かした生活困窮者自立支援～

第二分科会では、全体テーマとして、「救護施設における利用者支援のあり方について」～Aグループ「高齢・重度利用者

に対する支援のあり方と円滑な他法他施設への移行の取り組み」～Bグループ「利用者の自立助長と支援計画書作成の取り組み」～Cグループ「利用者の健康管理・栄養管理による自立支援の取り組み」～というテーマで分科会を行いました。

私は、Bグループに参加させていただきました。昭島莊（東京都）と共生の杜（栃木県）から発表された2つ



の事例についてグループ討議が行われました。その内の一つ昭島莊の事例検討について報告させていただきます。

本人は、男性・72歳・入所19年目・クモ膜下出血後後遺症あり・性格は、社交的。

経過として、入所時はクモ膜下出血の後遺症で軽度失見当識あるも、ADLは自立。自発的に施設内の草むしりを始められた為、掃き掃除を日課にして貰う。しかし、

缶の回収の際、無断で出掛けられてしまう為、単独での回収の危険性を伝えるも理解されず、無断外出が続く。その後、施設から10キロ離れたお姉様宅へ出掛けてしまい、お姉様が転居後も認識出来ずにお姉様宅へ出掛け、迷子になる事が続く。その為外出時の服装を毎回記録し、一定時間での所在確認を行う等、さまざまな対策を講じていたが、検索する事が増え、家族から外出時は必ずGPSを持つよう依頼され、昼食までには戻るよう声掛けを行っている。

現状として、救護施設の機能や役割、支援内容は多岐に渡ると思われます。支援計画作成の取り組みにあたっては、全救協の示す全國共通の視点の確立に加え、施設独自の目標や方針が必要だと思いました。

全体としては、当施設は行動指針にあるような事業についてはほとんど網羅しているので、今後はサテライト型施設による地域生活困窮者の居場所確保と相談支援機能の強化等が課題となっている為、事業展開後は私も支援機能の強化に取り組んでいきたいと思います。

黎明会に採用されて

救護施設 あかつき

介護職員 山崎 玉貴

黎明会に採用され、救護施設あかつきに勤め始めて1年2ヶ月。そろそろ日々の仕事にも慣れる頃かと思えば、度々起きる予期せぬ出来事の対応に追われる毎日を過ごしています。そんな折、今回、黎明会に採用されてから今日までを振り返る機会をいたしました。

現在の仕事を志したきっかけがあります。利用者様の殆どが認知症という施設だったのですが、ある時、統合失調症の方が入所され、病気についてなんの知識もなく手探りでケアにあたったのが始まりです。あかつきの利用者様の多くは統合失調症の方であり、病気についての知識が豊富な先輩・上司に囲まれている今でこそ、利用者様の気持ちや行動についての意見をいたたくことが出来ます。当時の自分にはその方の発言や行動を理解することが出来ず、自分はもつと多くの苦しみを学ばねばならないと感じました。

その経験から、統合失調症に関する仕事を志しました。

あかつきに入職してからもその頃の気持ちは変わらず自分の中に専門的な外部研修へ積極的に参加させていただけたり、多くの学びがある今はとても充実しています。特に、法人内の新任研修では、黎明会の一員として身につけておかなければならぬ事を学べる他に、普段は顔を合わせることが無い法人内の他の施設の職員との交流が図れ、自分の見識を広める上で良い刺激になりました。研修のほか、新任職員が担当する自衛消防隊では他の施設の上司や先輩と同じ目的に向かって協力し合い長い時間を共にし、単に審査会に参加して結果を出すということだけでなく、他の施設の様子や情報交換・同じ年代の、同じ福祉の職に就く方たちと思いを共有できる貴重な時間を過ごすことができました。

法人や上司、身近な先輩からのサポートを受けながら、種々の障害や病気を抱える利用者様が健康で充実した生活が送れるよう援助しているのを見ていると、そういう方に囲まれての仕事をとても誇らしく感じています。

障害者支援施設 澄水園

支援員 上野 美由紀

私が黎明会に採用されて、障害者支援施設澄水園に配属されるまでに至った経緯は、福祉の専門学校に通っていた昨年の2月に、介護老人保健施設やきの郷で実習を経験し、利用者様が穏やかに笑顔で楽しく生き生きと、日々過ごされているのを拝見させていただけです。20日間の実習を経て、職員の方々がいつも笑顔で、利用者様一人ひとりに寄り添い、心のこもったケアを行っているからだと思いました。私は職員の方々のチームケアに感銘を受け、黎明会で働きたいという思いが強くなり入職を希望しました。

澄水園に配属されてから4ヶ月が経ちました。精神的にとても辛いと感じることがありますが、同期の仲間達からの励ましや、先輩職員の方々からのあたたかい言葉がけや、ご指導のおかげで少しずつではありますが業務にも慣れてきました。

その人の個性と考えることで見方や考え方が変わりました。利用者が何気なく行っている一つ一つのことや問題行動にも何かしらの意味があり、支援員として何ができるのか専門的な視点から相手の立場になり、受け止め理解していくことが大切なのだと思いました。人間対人間の関わりなのでマニュアル通りにはならないのが対人関係の難しいところではあります。しかし難しいからといって、ただ漠々と業務をこなしているだけでは利用者様との信頼関係を築くことはできません。技術や知識を研修等でスキルアップしていくことも大切なことはあります。が、それ以前に支援員として利用者様の一一番身近にいる立場として、しっかりとコミュニケーションを図り、相手を知ることで一人ひとりが楽しく笑顔で安全に安心してその人らしい生活を送ることができます。が、それができないように、常におもてなしの心を忘れずに利用者様と向き合っていきたいと考えております。



ふれあい短信

私とボランティア活動との出会い

やすらぎの園ボランティア 本間 いつ子

私がボランティア活動に出会ったのは、福祉施設で働いていた頃、日課表に基づき、同じような活動内容の中で少しマンネリ化して来る時に、時々ボランティアの方が来て下さり、施設とは違った内容の活動をして頂きそこに新鮮さを感じたことでした。利用者の皆様も、生け花・手品・踊り・歌等など、いつもと違った状況に大変満足されている様子を目の当たりにし私自身もいつかはこのような活動ができればいいなと願っておりました。

定年退職後、施設に入所されている方々や障害を持たれている方々との触れ合いを持ちながら、少しでもお役に立つことが出来れば、そして自分自身のためにも出来る事をお手伝いさせて頂こうと。ボランティア団体「いきいき93」に入会しました。団体または個人として取り組み、各施設等を訪れていますが、そこには施設独自の雰囲気や受け入れる側の姿勢

たのは、福祉施設で働いていた頃、日課表に基づき、同じような活動内容の中で少しマンネリ化して来る時に、時々ボランティアの方が来て下さり、施設とは違った内容の活動をして頂きそこに新鮮さを感じたことでした。利用者の皆様も、生け花・手品・踊り・歌等など、いつもと違った状況に大変満足されている様子を目の当たりにし私自身もいつかはこのような活動ができればいいなと願っておりました。

宝”と思っています。

平成27年6月20日「第29回小平福祉の集い」が開催され、式典に続き各部門の表彰状の贈呈式がありました。僭越ながら私もボランティア活動15年を通じ社会福祉運営に幅広い分野で支援貢献したとの理由で表彰されました。同じ活動をされている方々の代表として高い壇上に上がりましたが大変緊張し胸の動悸と足の震えを抑えることが出来なかった事は今でも

たのは、福祉施設で働いていた頃、日課表に基づき、同じような活動内容の中で少しマンネリ化して来る時に、時々ボランティアの方方が来て下さり、施設とは違った内容の活動をして頂きそこに新鮮さを感じたことでした。利用者の皆様も、生け花・手品・踊り・歌等など、いつもと違った状況に大変満足されている様子を目の当たりにし私自身もいつかはこのような活動ができればいいなと願っておりました。

また、利用者の方々から学ぶ事も数多くあり、自分自身も貴重な体験をさせて頂いております。入会後は、大勢の方々と出会い触れ合い、そして大切な友を持つことが出来た事が何物にも代えがたい

べきです。
今後も皆様と諸々の活動を通じ交流の輪を持ちながら絆を深めてきましたお陰と感謝の気持ちでいっぱいです。

れません。
しかしながら、私自身にとっても真夏の高温の日又は大雨の日等は出掛ける意欲が半減する事が多々ありましたが、皆さんのが心待ちにしている事を考えると自分に気合いを入れ、いそいそと出掛けた事が長年活動に従事してきた結果のご褒美と思い大変喜ばしく、一生の思い出となりました。

最後にここまで活動する事ができましたのも皆様のお力添えがいました。



お知らせ

◆平成27年度 第2回理事会

平成27年9月2日14時からアルカディア市ヶ谷に於いて、平成27年度第2回理事会を開催しました。会は理事長の挨拶で始まり、澄水園の大規模修繕工事実施に係る入札及び予定価格の設定について審議し、全会一致で承認されました。

◆平成27年度

第3回理事会・評議員会

(樋口)

平成27年9月11日13時から当会黎明ホールにて、平成27年度第3回理事会・評議員会を開催しました。

会は理事長の挨拶で始まり、役員改選（案）、諸規程の改正（案）等について審議し、全会一致で承認されました。

(樋口)

施設リポート



のぞみ作業所の自主製品

▲のぞみ作業所

去る7月9日から14日までの6日間、第10回のぞみ作業所作品展を、小川町のNMCギャラリーにて開催しました。期間中はご利用者をはじめ、一般の来場者の方々も多くお越しくださいました。個性溢れる数々の作品を色々な方々に見ていただることはとても喜ばしく思います。土・日の2日間にはプラスチック板(プラバン)でオリジナルキーホルダーを作る、という小さなイベントも開催し、お子様からご高齢の方と、幅広い年代の方が楽しまれました。今年で10回目を終えた作品展でしたが、毎年、作品展示をする空間を

豪華で美味しいお弁当を堪能されました。その後は早速水族館を見学。グレープに分かれ、広い水族館の中を見て回りました。赤ちゃんペニギンに癒され、迫力のある魚や珍しい魚に興味津々のご様子でした。まぐろの減少は残念でしたが、地上30・7メートルにもなる大きなガラスドームには圧倒されました。日頃見られないご利用者の表情を見ることができ、職員

ご提供いただけるオーナー様に感謝の気持ちでいっぱいです。

(横井)

▲澄水園日帰り旅行

七月七日七夕、澄水園生活介護ご利用の皆様とミドルステイをご利用の皆様の総勢28名で葛西臨海水族園に出掛けました。彼らは初めての旅行でもあり、皆さんドキドキワクワク。小雨のぱらつくあいにくのお天気でしたが皆様笑顔で出発されました。

車内ではカラオケを楽しまる方が、外の景色を楽しまる方、自由に過ごされていました。1時間半程度の道のりもあつという間に到着。

▲あかつき

去る八月十四日、あかつきにおいて恒例の「偲ぶ会・盆踊り」を開催しました。

(国武)

去る8月5日(水)にゆとりあの郷、最大のイベントであるビアパーティーを開催しました。当日は、33・5°Cと厳しい暑さだったのですが、パーティーが始まると17時頃になると海からの心地良い風の中、盆踊り、日本舞踊、フラダンス、そして和太鼓の生演奏と、大変盛り上がり、入居メンバーの皆様方と楽しい時を過ごすことができました。

(相川)

にとつても充実した一日となりました。

(佐藤)



▲ゆとりあの郷

去る8月5日(水)にゆとりあの郷、最大のイベントであるビアパーティーを開催しました。

当日は、33・5°Cと厳しい暑さだったのですが、パーティーが

つづきの夏が過ぎて行きます。また。地域のサークル「紫陽会」の皆様に、お手本になっていただけながら熱氣あふれるひと時を過ごしました。こうして今年もあかつきの夏が過ぎて行きました。

(佐藤)

午後は趣向を変え、盆踊りをし

まずは楽しみの一つ、昼食です。方、外の景色を楽しまる方、自由に過ごされていました。1時間半程度の道のりもあつという間に到着。

まずは楽しみの一つ、昼食です。豪華で美味しいお弁当を堪能されました。その後は早速水族館を見学。グレープに分かれ、広い水族館の中を見て回りました。赤ちゃんペニギンに癒され、迫力のある魚や珍しい魚に興味津々のご様子でした。まぐろの減少は残念でしたが、地上30・7メートルにもなる大きなガラスドームには圧倒されました。日頃見られないご利用者の表情を見ることができ、職員

熱海ゆとりあの郷
ビアパーティーの様子

11月	10月◆ 月澄	12月	11月	10月◆ あかつき	12月	11月
保護者会 （28）	一泊旅行 （28・29日） （14）	保護者懇談会 （28）	喫茶旅行 （13・29日） （10）	喫茶旅行 （30） （19）	文化祭 （22）	秋祭り （24） （17） （2）
保育園 （28）	一泊旅行 （28・24日） （14）	保護者会 （25）	喫茶旅行 （21） （20） （16）	喫茶旅行 （19）	一泊旅行 （22） （17） （18）	合同レク大会 （15）
保育園 （28）	一日旅行 （28・24日） （14）	水園 （25）	喫茶旅行 （21） （20） （16）	喫茶旅行 （19）	一日旅行 （22） （17） （18）	黎明寮 （9） （15）

☆金員
★物品
匿名2件
柏木恵子様*匿名3件

行事予定

（）内は日付
10・11・12月

寄贈者ご芳名（順不同）
平成27年6月・7月・8月

ありがとうございました

12月	11月	10月◆ 熱海ゆとりあの郷	12月	11月◆ 南台病院	12月	11月◆ のぞみ作業所	12月	11月◆ デイサービスやすらぎ	12月	11月◆ やすらぎの園（ユニット型）	12月
クリスマス会 （28）	秋のふれあい大会 （26）	作品展示会 （24）	クリスマス会 （26）	忘年会 （26）	芋煮会 （21）	一泊旅行 （29・30）	ゆず湯（冬至）	ゆず湯（冬至）	クリスマス会 （28）	保護者懇談日（12）	3階運動会
もつたサービスを提供します。	地域と協働し、広く社会に貢献します。	常に自らを磨き、活力ある職場づくりに努めます。	福祉事業のパイオニアとして、時代が求めるものを目指します。	利用者の立場で考え、心のこもったサービスを提供します。	保健・医療・福祉の総合機能を活かし、質の高いサービスを提供します。	地域の立場で考え、心のこもったサービスを提供します。	利用者の立場で考え、心のこもったサービスを提供します。	利用者の立場で考え、心のこもったサービスを提供します。	利用者の立場で考え、心のこもったサービスを提供します。	利用者の立場で考え、心のこもったサービスを提供します。	利用者の立場で考え、心のこもったサービスを提供します。
クリスマス会 （28）	紅葉狩り （26）	秋のふれあい大会 （26）	クリスマス会 （26）	お楽しみ会 （9・11・14・26）	お楽しみ会 （9・11・14・26）	保護者会 （21）	忘年会 （26）	芋煮会 （21）	一泊旅行 （29・30）	ゆず湯（冬至）	やすらぎの園（ユニット型）

【受付時間】午前：8:30～11:30 午後1:00～4:00

診療日	診療時間	内科	消化器内科	循環器内科	神経内科	神経科	整形外科	リハビリ科	皮膚科	歯科
月	午前	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	○	○	○	○
火	午前	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水	午前	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	○	○	○	○
木	午前	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金	午前	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	○	○	○	○
土	午前	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	○	○	○	○

南台病院 外来診療一覧
☎ 042(341)7111

黎明会の運営理念

一 五つの目標

1 利用者の立場で考え、心のこもったサービスを提供します。

2 保健・医療・福祉の総合機能を活かし、質の高いサービスを提供します。

3 地域と協働し、広く社会に貢献します。

4 常に自らを磨き、活力ある職場づくりに努めます。

5 福祉事業のパイオニアとして、時代が求めるものを目指します。

◆黎明会が経営している施設・病院◆

〒187-032 東京都小平市小川町1-485

◇黎明会法人本部総務局

◇在宅サービス総合センター

小平市地域包括支援センター けやきの郷

指定居宅介護支援事業所

みなみだい訪問看護ステーション

訪問介護ステーションみなみだい

訪問給食ステーションみなみだい

在宅・福祉用具相談取次所

地域生活支援センター澄水（障害児等相談事業）

◇障害者支援施設 澄水園

◇救護施設 黎明寮

◇救護施設 あかつき

◇特別養護老人ホームやすらぎの園

☎ 042(346)6611

◇デイサービス やすらぎ

☎ 042(345)0617

◇デイサービス いきいき

☎ 042(345)0617

◇診療施設 南台病院

☎ 042(341)7111

◇介護老人保健施設 けやきの郷

☎ 042(345)5321

◇けやきの郷 デイケア

☎ 042(349)0770

〒187-0001 東京都小平市大沼町2-12-5

◇障害福祉サービス のぞみ作業所

☎ 042(342)5711

◇指定共同生活援助

☎ 042(347)6160

グループホームどりーむ・のぞみ

〒187-0032 東京都小平市小川町1-497-8

◇指定共同生活援助 グループホーム澄水

☎ 042(341)5656

〒413-8566 静岡県熱海市西熱海町1-24-1

◇有料老人ホーム 熱海ゆとりあの郷

☎ 0557(81)2322

◇熱海ゆとりあの郷診療所

☎ 0557(81)5215